

第 3 問

都市に居住する人々が従事する産業は、居住する土地に直接関係する農林水産業や鉱業といった産業ではないことが多く、都市に住む人々の生活や環境は、それ以外の土地に住む人々と異なる特色を持つものとなった。このことに関連する以下の設問(1)～(10)に答えなさい。解答は、解答欄 (ハ) を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)～(10)の番号を付して記しなさい。

問(1) 古代ギリシアでは、多くのポリスと称される都市国家が形成された。ポリスにおいて、市民の集会などが催され、公共空間としての役割を果たした広場を何と称するか。その名称を記しなさい。

問(2) 中国の古代国家は農業を主たる経済的基盤としており、都市に対する統制も強く、自由な経済活動は発展しにくかった。しかし唐代後期から宋代にかけて、都市生活や商工業は大きな変革を遂げていった。張択端の作とされる「清明上河図」に描かれている宋代の都の名を記しなさい。

問(3) イスラーム世界の中心都市であったバグダードの繁栄は、アッバース朝の衰退とともにかけりを見せ、紅海と地中海を結ぶ要衝であるカイロが商工業や学芸の中心として発展した。この都市に10世紀後半に設けられ、以後当地の最高学府であり続けたマドラサの名称を記しなさい。

問(4) サハラ砂漠の南方は金の産地として知られ、北アフリカの岩塩と金とを交易するルートが開かれると、その要地には交易都市が繁栄し、さらにそれらの都市を基盤とする黒人王国が興亡した。中でも14世紀を最盛期とする王国は、黄金の国としてヨーロッパ世界にまでその名を知られていた。この国の名(a)と、この王朝のもとで繁栄したサハラ砂漠南端とニジェール川との接点に位置する交易都市の名称(b)を、冒頭に(a)・(b)を付して記しなさい。